

特記仕様書

■ 業務名

新西和医療センター整備にかかる環境影響評価資料作成業務

■ 業務場所

奈良県生駒郡斑鳩町興留 地内

第1章

本業務の履行にあたっては、本特記仕様書によるほか、「土木設計業務等委託必携（令和2年10月奈良県県土マネジメント部）」（以下「共通仕様書」）によるものとする。

第2章

以下、共通仕様書等に対する特記事項は次のとおりとする。

第1節（業務目的）

本業務は、奈良県西和医療センターの移転整備事業推進を図るため、環境影響評価資料作成にかかる調査、予測評価等を行うものである。

第2節（総則）

第1項（提出書類）

「発注者が指定した様式」とは、奈良県県土マネジメント部が定めた土木設計業務委託関係提出の様式をいう。

第2項（打合せ）

業務における打合せは、業務着手時、中間2回、成果品納品時の計4回行うものとする。ただし、中間打合せは、調査職員と協議の上、打合せ回数を変更できるものとする。なお、業務着手時又は業務計画書作成時及び業務完了時には原則として管理技術者が立ち会うものとする。

第3項（資料の貸与及び返却）

本業務の履行にあたり貸与する資料等は以下である。

□新西和医療センター配置図（案）

第4項（土地への立ち入り等）

- 1）業務の実施に伴う植物の伐採、かき、さく等の除去又は、土地または工作物の一時使用により生じる損失については受注者の負担とする。
- 2）現地調査を実施する場合、調査員の内1人は必ず自己身分証明書を携帯して業務にあたるものとする。
- 3）身分証明書の内容については、委託契約に基づく業務を行うものであることの証明とし、別に定める身分証明書に基づき発注者が交付するものとする。

第5項（成果の提出）

本業務は電子納品対象業務とする。

電子納品とは、最終成果を電子データで納品することをいう。

ここでいう電子データとは、国土交通省が策定した「土木設計業務等の電子納品要領（案）」及び奈良県が策定した「土木設計業務等の電子納品運用ガイドライン（案） 令和6年4月」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

なお、書面における署名又は押印などの取り扱いについては、別途発注者と協議すること。

成果品は、「要領」に基づいて作成した電子データを従来方式の原稿に代わるものとしてCD-Rに納め3部提出するとともに製本版（報告書（簡易製本）等）を2部納品するものとする。

「要領」で特に記載のない項目については、調査（監督）職員と協議のうえ決定するものとする。

第6項（管理技術者）

1. 管理技術者は、以下のいずれかの資格を有するものとする。

(1)技術士（総合技術監理部門）選択科目：建設－建設環境 または 環境－環境影響評価

(2)技術士（建設部門）選択科目：建設－建設環境 または
（環境部門）選択科目：環境－環境影響評価

(3)シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）：建設環境

(4)上記(1)又は(2)と同等の能力と経験を有する技術者（国土交通省「建設コンサルタント登録規定」第3条1項口により認定された技術者）

2. 管理技術者は原則として変更できない。ただし、死亡、傷病、退職、出産、育児、介護等やむをえない理由により変更を行う場合には、同等以上の技術者とするものとし、受注者は発注者の承諾を得なければならない。

第7項（照査技術者及び照査の実施）

1. 本業務の実施にあたっては、照査技術者を定め照査を行うものとする。

2. 照査技術者は、以下のいずれかの資格保有者とする。

(1)技術士（総合技術監理部門）選択科目：建設－建設環境 または 環境－環境影響評価

(2)技術士（建設部門）選択科目：建設－建設環境 または
（環境部門）選択科目：環境－環境影響評価

(3)シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）：建設環境

(4)上記(1)又は(2)と同等の能力と経験を有する技術者（国土交通省「建設コンサルタント登録規定」第3条1項口により認定された技術者）

3. 照査技術者は以下に定める照査報告書における照査結果の照査報告書及び報告完了時における全体の照査報告書を取りまとめ、照査技術者の責において署名捺印のうえ管理技術者に提出するものとする。

4. 照査技術者は、原則として変更できない。ただし、死亡、傷病、退職、出産、育児、介護等やむを得ない理由により変更を行う場合には、同等以上の技術者とするものとし、受注者は発注者の承諾を得なければならない。

第8項（担当技術者）

受注者は、業務の実施にあたって担当技術者を定める場合は、その氏名その他必要な事項を調査職員に提出するものとする。（管理技術者と兼務するものを除く）

なお、担当技術者が複数にわたる場合は、適切な人数とし、8名までとする。

第3節（設計業務等一般）

本業務で使用する図書は、共通仕様書に定める適用示方書・指針等のとおりとする。

第3章

第1節（環境影響評価資料作成）

1. 計画準備

業務実施に当たり、業務の目的・実施内容、実施体制・連絡体制、業務工程、引用図書、留意事項等について業務計画書を作成する。

2. 現地調査

以下の内容について、現地調査を実施する。

(1)騒音調査

調査項目：道路交通騒音、一般環境騒音、交通量

調査時期：冬季

調査地点：3地点※交通量は2地点（別添参照）

調査方法：騒音は「JIS Z 8731」並びに「騒音に係る環境基準の評価マニュアル（一般地域編、道路に面する地域編）」に準じるものとする。交通量は「道路環境センサス調査要領」に準じるものとする。

(2)振動調査

調査項目：道路交通振動、一般環境振動、地盤卓越振動数

調査時期：冬季

調査地点：3地点※地盤卓越振動数は2地点（別添参照）

調査方法：振動は「振動規制法施行規則」に準じるものとする。地盤卓越振動数は「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

(3)動物

調査項目：鳥類、昆虫類、魚類、底生動物

調査時期：春季、秋季

調査範囲：事業実施区域並びに三代川

調査方法：任意踏査による目視観察並びに捕獲

(4)植物

調査項目：植物相

調査時期：春季、秋季

調査範囲：事業実施区域並びに三代川

調査方法：任意踏査による目視観察並びに採取

3. 予測評価

以下の内容について、予測評価を実施する。

(1)大気質

1)資材及び機械の運搬に用いる車両の運行の粉じん

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：事業敷地境界の住居が近接する1か所

2)建設機械の稼働の粉じん

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：事業敷地境界の住居が近接する1か所

(2)騒音

1)資材及び機械の運搬に用いる車両の運行の騒音

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：大和高田斑鳩線沿道の住居が近接する2か所

2)建設機械の稼働の騒音

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：事業敷地境界の住居が近接する1か所

3)供用後の駐車場の騒音

予測手法：「道路交通騒音の予測モデル ASJ RTN-Model 2023」に準じるものとする。

予測地点：事業敷地境界の住居が近接する1か所

4)利用者による自動車の騒音

予測手法：「道路交通騒音の予測モデル ASJ RTN-Model 2023」に準じるものとする。

予測地点：大和高田斑鳩線沿道の住居が近接する2か所

5)供用後のヘリコプターの騒音

予測手法：類似事例の引用及び解析により行う。

予測地点：事業敷地境界の住居が近接する1か所

(3)振動

1)資材及び機械の運搬に用いる車両の運行の振動

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：大和高田斑鳩線沿道の住居が近接する2か所

2)建設機械の稼働の振動

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：事業敷地境界の住居が近接する1か所

3)利用者による自動車の振動

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：大和高田斑鳩線沿道の住居が近接する2か所

(4)動物

予測項目：調査項目と同様

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：調査範囲と同様

(5) 植物

予測項目：調査項目と同様

予測手法：「道路環境影響評価の技術手法 平成24年度版」に準じるものとする。

予測地点：調査範囲と同様

(6) 文化遺産

予測項目：文化財及び埋蔵文化財包蔵地の分布又はその改変の程度

予測手法：「奈良県環境影響評価技術指針」に準じるものとする。

予測地点：事業実施区域

4. 環境影響評価資料作成

2、3で実施した内容について、環境影響評価資料として取り纏める。なお、取り纏め様式は、発注者と協議の上決定する。

5. 報告書の作成

業務実施内容について取り纏め、報告書を作成する。

第2節（その他特記事項）

1. 施設内容

病院建物（地上4階建て程度、屋上ヘリポート、免震構造）、駐車場、バスロータリー、車寄せ等

2. 施設へのアクセス

県道大和高田斑鳩線からの車両進入路を確保、JR法隆寺駅からの歩きやすい空間を確保

3. 病床数 300床（現病院300床）

建築延べ床面積 約27,000㎡（現病院は、約20,000㎡）

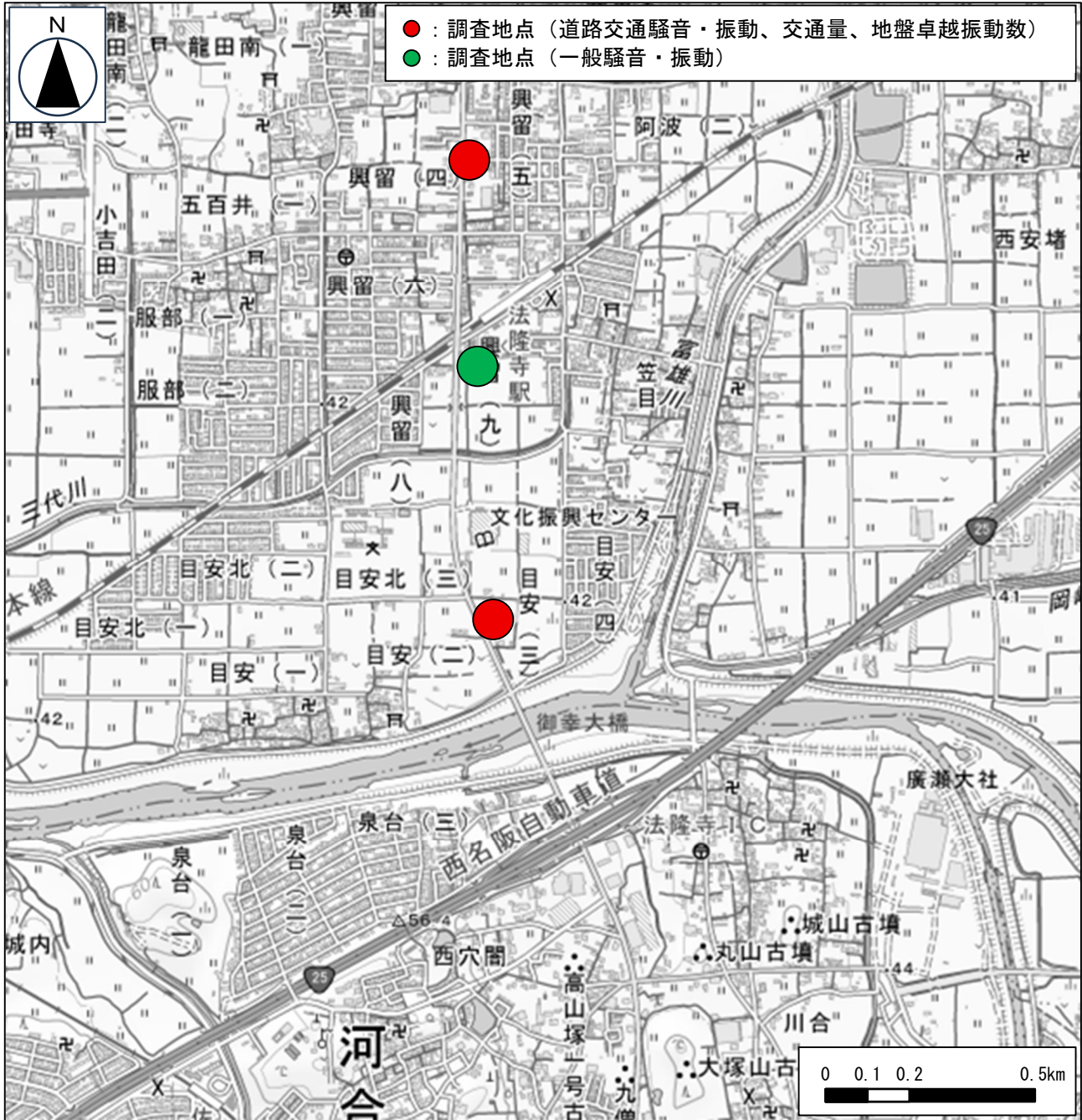


図 調査地点位置図 (騒音・振動)